



『与謝野晶子と宮沢賢治、教材の思い出と読解力』

校長 勝 幸 八

今年があっという間に12月になった感じがします。10月、11月は比較的穏やかで暖かい日が続き、北風が寒気を運んできたと思ったらもう12月です。深まる秋を感じることなく寒い冬を迎えたような気がします。生まれ育った熊本市の木は銀杏で、並木や通った小中学校、高校にも堂々とした銀杏の木がありました。その銀杏が黄色く色づきはじめると秋の気配を感じ、黄色い葉が散ってしまうと寒い冬です。与謝野晶子の歌「金色のちいさき鳥のかたちして 銀杏ちるなり 夕日の岡に」を教科書で見たとき、その情景が鮮やかに浮かび感動したことを覚えています。

宮沢賢治の作品の中に出てきた、水たまりに映った冬の空の風景を、小学生時代に先生から質問されたことがあります。当時の冬の天気イメージは、灰色の雲が覆っているというものでした。先生が青空に白い雲が浮かんでいると説明されてもなかなか納得がいかなかったことをいまだに覚えています。下の表は、小学校高学年から中学校までの頃、1967年から1971年までの5年間の1月、2月、12月の熊本市と賢治が学生時代を過ごした盛岡市の昼間の天気を比較したものです。雨、雪、曇、曇時々雨、曇一時雨、曇時々雪、曇一時雪などの「晴」の記述がない日は、1月、2月で熊本が盛岡より5日ほど多く、青空が広がっていない日が多いことがわかります。逆に晴、晴時々雨、晴一時雨、晴時々雪、晴一時雪などの「晴」

の記述がある日数は、盛岡が多いことがわかります。また、熊本の1月、12月は、青空の広がっていない日が「晴」の記述のある日より7日ほど多く、晴れ間が少ないというイメージがあったのかもしれない

地域	1月		2月		12月	
	熊本	盛岡	熊本	盛岡	熊本	盛岡
「晴」の記述がない日数	18.2	13.8	14.6	9.4	18.4	17.2
「晴」の記述がある日数	12.8	17.2	13.6	18.8	12.6	13.8
合計日数	31.0	31.0	28.2	28.2	31.0	31.0

表 各月の昼間の「晴」の記述の日数(1967年から1971年までの5年間の平均)
 (気象庁ホームページ過去の地点気象データから作成)

せん。今は九州の日本海側、太平洋側、奥羽山脈と北上山地の間にある盛岡の気象等についての基礎的な知識や経験があるので、作品を読めば納得がいくと思いますが、残念ながら作品名は覚えていません。

人工知能で東大合格を目指した「東ロボくん」プロジェクトリーダーの新井紀子氏によれば、文章と図表から成る初見の文書を、人がどのように読解するかについては、実世界に関する知識が何もないと、正しく処理できるとは限らないそうです。例えば「私は岡田と広島に行った」と「私は岡山と広島に行った」を正しく認識するには、岡山と広島が隣接する県であることや、岡山というのは岡山より比較的多い苗字のひとつだという知識が必要です。また、新しく得られた知識と既存の知識から、ひとつの知識を数十倍、数百倍に拡張することができるといいます。例えば「ヨーロッパは日本より相対的に緯度が高いので、夏の昼の時間が長い」という新知識が教科書から与えられたとき、一日は昼と夜で構成されるという常識に基づき、論理的に推論することで、「ヨーロッパは日本より相対的に緯度が高いので、夏の夜の時間が短い」ことがわかることになります。推論をすることで、人は数少ない知識から豊かな世界観を精緻に構築することができるようになるそうです。

(国立情報研究所ニュースリリース 平成28年7月26日「文章を正確に読む力を科学的に測るテストを開発 産学連携で「読解力」向上を目指す研究を加速」別紙資料1より)

宮沢賢治の冬空の風景が思い浮かばなかったのは、知識や常識、論理的推論力が十分備わっていなかったのかもしれませんが、また、実際に見て体験していたからこそ、与謝野晶子の歌の情景は鮮明に浮かんだのかもしれませんが、多くの知識を得て経験し推論することで目の前に大きな世界が広がっていきます。生徒たちには基礎、基本の知識を得ながら、論理的推論力を伸ばし読解力を高めていく欲しいものです。

1月の行事予定

日	曜	行事予定
2日	月	校外模試3年(センター試験直前対策)～3日
4日	水	冬季学習会(3年)～6日
6日	金	出初式参加(吹奏楽部)
10日	火	始業式、冬季課題確認テスト(1・2年)
11日	水	冬季課題確認テスト(1・2年)、3年考査時間割発表、朝学タイム開始
14日	土	センター試験～15日
17日	火	消費生活支援講座(3年)、二次特編授業開始
18日	水	3年学年末考査～20日、メンタルトレーニング講習会
21日	土	校外模試1・2年
22日	日	校外模試2年
24日	火	駅伝大会
25日	水	駅伝大会予備日
26日	木	郷土料理教室(3年)
27日	金	保健指導(3年)
31日	火	自宅学習開始(3年)



小中高一貫教育後期「人権学習」

12月1日(木)本校体育館において人権学習を実施しました。小中高一貫教育の合同行事で、後期の生徒(小値賀中学校2・3年生、北松西高校全生徒)を対象に、お互いの良さを認め合うことで他者理解を促進し、人間関係を深める態度を育てることを目的に実施しています。

今年度はアイスブレイキング、ワークショップを行いました。



全体説明



ダイヤモンドランキンングシート作り



グループ発表

一生徒感想(1年女子)

私は今まで「人権」といえば「友達を思いやる心を持つ」という事だと思っていました。しかし「人権」とは9つの価値観があり、頭の中でピラミッドのように順位づけされているんだと知りました。グループ活動で「ダイヤモンド・ピラミッド」を作成しました。私は一番上が「健康」です。健康だったら、全てが幸せになり楽しい人生を送ることができるからです。年を重ねるにつれてピラミッドの構成内容が一致するところができてすごいと思いました。中学生と高校生の考えている順位が異なり「ひとり一人の価値観は違う」と改めて感じました。また他学年とコミュニケーションをとることで「こんな考え方があるんだ」と感じるものがたくさんありました。現在日本では“いじめ”による自殺やネット上での悪口、書き込みなどが絶えません。一人でも多くの方が笑顔で楽しい毎日をおくることができるよう心掛けていきたいと思っています。

English Day

12月19日(月)本校において、小中高一貫教育の一つとして英語科による、小値賀小学校5・6年生、小値賀中学校全校生徒、北松西高校全生徒を対象に English Day が実施されました。なかま集めゲーム、Pokemon Go の企画を校種間を超えてお互いを理解しながら協力して取り組んでいました。



なかま集めゲーム

Pokemon Go

卒業レポート発表会

12月20日(火)、3学年の卒業レポート発表会がありました。3班に分かれて、それぞれテーマを決め、1学期から取り組み、その成果を発表しました。今回は小値賀中学校3年生も一緒に視聴し先輩方の発表の様子を熱心に聞き入っていました。発表後は1、2年生や先生方との質疑応答を活発に行いました。

1班「小値賀町の人口推移」

島元周 橋本渉 前田静 川村美月 護山恵

動機：小値賀島は人口減少が深刻な問題になっており、その原因を知りたい。

また高校生が将来、島に戻ってきたいかどうか知れたかったから

2班「小値賀町民の食事と体型の現状」

谷元優貴 永田雄平 川本亜美 神田理江 田淵桜

動機：小値賀の子は平均身長が低かったり、身体能力において何か特徴があるのではないかと。

3班「小値賀町の観光業の現状と課題」

村田健成 岩坪慎之介 出口湧也 神川航大 牧尾康生

動機：小値賀の観光業について調べて観光客が増えるにはどうすればよいか検討したい。



—お知らせ—

駅伝大会実施

日時：1月24日(火) 9:00～11:45

コース：学校スタート → 柳 → 浜津 → 大浦 → 松が丘 → 学校ゴール の周回コース
(5.2km) (体育館前) (善福寺前) (番岳入口) (小学校) (体育館前)

競技方法：チーム対抗(男子3名、女子2名)の全6チーム。一人5.2kmで全5周します。
沿道からの応援をよろしくお願いします。

2学年修学旅行

12月5日(月)から12月9日(金)の5日間、2学年団が修学旅行に行ってきました。天候にも恵まれ、事故や怪我等もなく、無事に日程を終えることができました。

生徒達は、普段とは違う環境の中で多くのことを学ぶことができました。

—旅行行程—

1日目：大坂城

2日目：国際交流(関西国際大学)・春日大社・東大寺・唐招提寺・薬師寺(説法体験)・海遊館

3日目：京都市内班別自主研修

4日目：企業訪問(パナソニック)・ユニバーサルスタジオジャパン

5日目：九州国立博物館・太宰府天満宮・リサイクル工場見学



小値賀港にて出発式



新幹線での様子



大阪城で記念写真



国際交流の様子



東大寺大仏殿の前で



銀閣寺通りにて



ユニバーサルスタジオジャパンにて



大宰府天満宮にて



解団式

編集後記 松のひとりごと・・・2016年も残り10日を切り、あとわずかとなりました。もちろん今年の振り返りをするのも大切ですが、来年1年をどのように過ごしていくか、目標を立てることも非常に大切です。2017年がいい年になるよう最高の準備をしましょう。

